

キャラクター名  
ジュンコ(本名：ナギニ)

プレイヤー名

種族	ウィークリング	種族特徴	弱点(水氷+3)、石化の視線、毒の血液		
生まれ	戦士	性別	心は乙女	年齢	25歳
冒険者Lv	15	経歴	命を救われたことがある		
経験点	1800		憧れる冒険者がいる 物心がついた時には独りだった		

技	8	能力値	A-F	成長	他修正	能力値	ボーナス	技能	Lv.	技能	Lv.
		器用度	8		30	46 + 2	8				
体	10	敏捷度	10	4	14	36	6	グラブラー	3		
		筋力	11	5	19	45	7	レンジャー	12		
		生命力	12	2	24	48 + 2	8	エンハンサー	11		
心	6	知力	11		1	18	3	ウォーリーダー	15		
		精神力	8	1	6	21	3				

戦闘特技			
タフネス	2122p	防具習熟A/金属鎧	1-282p
追加攻撃	220 p	防具習熟S/金属鎧	1-282p
投げ攻撃	225 p	防具の達人	3-213p
バトルマスター	3143p	頑強	1-279p
治癒適性	2122p	超頑強	2-228p
不屈	2123p		p
ポーションマスター	2123p		p
韋駄天	3142p		p
かばう	1-285p		p
鼓砲陣率追加	MA24p		p
先陣の才覚	MA24p		p

言語		
会話	読文	
交易共通語	○	○
汎用蛮族語	○	○

練技/呪歌/騎芸/賦術		
ビートルスキン	鼓砲【怒涛の攻陣Ⅲ：旋刃】	鼓砲【鉄壁の防陣Ⅴ：巨壁】
キャッツアイ	鼓砲【怒涛の攻陣Ⅳ：輝斬】	
ガゼルフット	陣率【掃討の勝鬨】	
マッスルベアー	陣率【慮外なる一撃Ⅱ】	
ジャイアントアーム	陣率【衝撃の剛削Ⅰ】	
リカバリィ	陣率【衝撃の剛削Ⅱ】	
ワイドウイング	鼓砲【強靱なる丈陣Ⅲ】	
ケンタウロスレッグ	鼓砲【怒涛の攻陣Ⅳ：爆焰】	
デーモンフィンガー	鼓砲【怒涛の攻陣Ⅴ：獄火】	
ジプロフェシー	鼓砲【強靱なる丈陣Ⅳ：激生】	
タイタンフット	傷痕の見立て	
鼓砲【怒涛の攻陣Ⅰ】	鼓砲【強靱なる丈陣Ⅳ】	
鼓砲【怒涛の攻陣Ⅱ：旋風】	鼓砲【強靱なる丈陣Ⅳ：魔泉】	
陣率【慮外なる一撃Ⅰ】	鼓砲【鉄壁の防陣Ⅴ：鋼城】	

技能	基本 レベル	基本 命中力	基本 回避力	基本追加 ダメージ
ファイター	15	23	21	22
グラブラー	3	11	9	10
フェンサー	0			
シューター	0			

鎧と盾		必要 ランク		
鎧	マナタイト加工のインペリアル	筋力	回避力	防護点
盾	マナタイト加工のトータルリフレクター	33	-1	15
その他補正(防具習熟/回避行動 etc)				4
回避技能	ファイター	合計値	21	25

武器	用法	必要 筋力	命中 修正	命中力	C値	追加 ダメージ	威力	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
イグニタイト加工のロングスピア	1H両	20	-1	2d+ 22	10	22	30										
				2d+													
				2d+													
				2d+													
				2d+													
				2d+													
				2d+													
				2d+													

制限移動	通常移動	全力移動	回避	防護点	HP
3 m	36 m	108 m	2d+ 21	25	140
魔物知識/弱点	先制力	生命抵抗	精神抵抗	MP	
2d+	0/X	2d+ 21	2d+ 23	2d+ 18	21

魔法技能	Lv.	魔力	魔法技能	Lv.	魔力

装備品	説明
頭 スマルティエのヘッドバンド	HP回復効果を受けるたびにMP1点回復
耳 ゴールデン耳栓	呪歌・終律に対する抵抗+2
顔 アイソアーマスク	遠隔誘引
首 奇跡の首飾り	生死判定の振り直し
背中 セービングマント	回避抵抗失敗時魔法ダメージ-4
右手 生命増強の腕輪	
腰 真・ブラックベルト	
足 軽業のブーツ	転倒しなくなる
その他名声の軍師徽章	戦闘中に一回だけ鼓砲の系統変更時にラソク維持

装備品	説明
左手 器用増強の腕輪	

その他メモ	自動失敗 チェック
冒険に出た理由：探している人がいる	□□□□⑤
ナギニはいつも独りだった。	□□□□⑩
彼は、バジリスクでありながら穢れの少ないウィークリングとして生まれた。	□□□□⑮
名は与えられたが、両親から、いやその集落全員から虐待を受けていた。	□□□□⑳
普通であれば死ぬような虐待を受けていたが、彼の生命力は普通の者より高かったので死なずに耐えれてしまったのだ。	□□□□㉑
しかし、体は丈夫でも精神はそうはいかず、歳が10になるころに集落から逃げ出したが、	□□□□㉒
集落から追っ手をかけられ、見つかり、ついには殺されそうになった時・・・とある女冒険者に救われたのである。	□□□□㉓
その女冒険者は追っ手を全員始末した後、有無を言わず彼を自身の拠点に連れ帰った。	□□□□㉔
ウィークリングを連れ帰った彼女を当時のパーティーメンバーは諷めたが、聞く耳を持たなかったので諦められる。	□□□□㉕
そんな彼女を、彼が母と呼び慕うのは当然の帰結である。それから幾年もの時が経ち・・・	□□□□㉖

